

水質調査効率化への手引き作成 環境省



The Knights

環境省は、都道府県等が行う河川や湖沼、海域などの公共用水域の水質調査を効率化するための手引きを取りまとめました。この狙いとしては、限られた人員と予算の中でより効果的に調査を進めることにあり、その中で調査の頻度や項目、地点を削減する際の判断要素などを示しました。

また、手引きでは効率化に当たって、汚染源の改廃や土地の利用動向を踏まえて、まずは調査頻度を低減し、その効果や影響を評価した上で必要に応じて削減することを基本方針として示しています。その上で調査項目に関しては、生活環境項目については削減せず、健康項目は調査頻度を低減した後に削減か否かを判断するとしています。

効率化を具体的に進めるに当たっては、12 の方策を挙げ、判断要素や最低限満たすべき条件などを示しています。

さらに効率化の方策に関しては、実際に都道府県が取り組んだ事例を紹介しています。

なお、この手引きの中では、効率化に加え、重点化の方策も提示しています。

都道府県が実施する水質調査は、調査対象が増加する傾向にある一方で、国からの補助金が廃止された影響で予算や人員は削減される傾向にあります。こうした中、水質調査の適正水準を確保するためには、効率化の一層の推進が求められています。

当社では生活環境項目、健康項目を中心とした様々な水質分析についての長年の経験と実績があります。お気軽にご相談ください。

資料 2009年6月17日付 環境新聞

水質分析箇所 大塚卓也